

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2002-108335(P2002-108335A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2000-301894(P2000-301894)

【国際特許分類】

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 H 1/18 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/00 102B

G 10 H 1/00 102Z

G 10 H 1/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数の伴奏パートによる自動伴奏を行なう自動伴奏装置において、前記複数の伴奏パートそれぞれに対応する複数の操作子と、前記複数の操作子のうちのいずれかの操作子の操作を受けて、操作された操作子と、その操作子が操作されたタイミングにおける自動伴奏の状態との双方に応じて自動伴奏の態様を制御する伴奏制御部とを備えたことを特徴とする自動伴奏装置。

【請求項2】複数の伴奏パターンの中から選択された伴奏パターンによる自動伴奏を行なう自動伴奏装置において、複数の伴奏パターンの中から操作に応じて所望の伴奏パターンを選択する操作子と、いずれかの伴奏パターンの自動伴奏中における、前記操作子の操作を受けてフィルパターンの演奏に移行させ、該フィルパターンの演奏終了後に、前記操作子の、前記フィルパターンの演奏終了時点における操作状態に応じた伴奏パターンによる自動伴奏に移行させる伴奏制御部とを備えたことを特徴とする自動伴奏装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、上記本発明の自動伴奏装置のうちの第2の自動伴奏装置は、複数の伴奏パターンの中から選択された伴奏パターンによる自動伴奏を行なう自動伴奏装置において、複数の伴奏パターンの中から操作に応じて所望の伴奏パターンを選択する操作子と、いずれかの伴奏パターンによる自動伴奏中における、上記操作子の操作を受けてフィルパターンの演奏に移行させ、そのフィルパターンの演奏終了後に、その操作子の、そのフィルパターンの演奏終了時点における操作状態に応じた伴奏パターンによる自動伴奏に移行させる伴奏制御部とを備えたことを特徴とする。